

アンケート結果 集計表(文部科学省統一指標)

・「集計表」シートは、集計用に使用しますので、編集・削除等は絶対にしないでください。

アンケート対象者(基礎データ)

全学生数	1,819
有効回答数	1,332
割合	73.2%

全教員	142
有効回答数	142
割合	100.0%

全職員	66
有効回答数	66
割合	100.0%

全連携自治体	3
有効回答数	3
割合	100.0%

アンケート結果の集計

教育活動の状況

1. 地域志向科目※を何科目設置していますか。現在開設している科目数と、平成28年度新規に開設した科目数をそれぞれお答えください。

現在開設している科目数	110 科目
うち、平成28年度新規に開設した科目数	3 科目

2. 地域志向科目にアクティブラーニングを導入している科目を何科目開設していますか。

アクティブラーニングの科目数	30 科目
当該科目の履修者数(実数)①	642 人
当該科目の履修者数の全学生に対する割合 (当該科目の履修者数①/全学生数)	35.2 %

自県内入学者及び自県内就職者の状況について

1. 本項目に加えて、別添1の入学・就職状況調査票(03【別添1】【〇〇大学】入学及び就職状況)についても記入願います。

2. 平成28年度末日における全就職者数のうち、COC事業の協力先企業(共同研究、インターンシップ、PBL等)に就職した数をお答えください。

COC事業の協力先企業就職者数	5 人
うち、共同研究連携	1 人
うち、インターンシップ	0 人

うち、PBL	0人
うち、その他	4人

連携自治体等からの支援の状況

1. 大学COC事業を進めるにあたり、連携する自治体や企業等とのコストシェアの状況についてお答えください。

①人的支援について

	教員			職員	その他
	教授	准教授	講師・助教・助手		
自治体	0人	0人	0人	3人	
企業等	0人	0人	0人	1人	

②物的支援について

自治体	「親子ふれあい遊び」実施にあたり、会場として、玉川地域市民センター、高梁児童館、成羽町文化センター、落合児童館、川上児童館、川面地域市民センターを高梁市より無償で貸与を受けた。 企画展「高梁市の仏画―涅槃図を中心に―」実施にあたり、会場として高梁市歴史美術館を高梁市より無償で貸与を受けた。
企業等	「まちなかゼミナール」、「賢く安全で創造的な遊びと学び デジタルメディアとの付き合い方」講習会実施にあたり、会場として、ポルカ天満屋ハピータウン市民交流センターをポルカ天満屋ハピータウンより無償で貸与を受けた。

③財政的支援について

自治体名	金額
高梁市	343,000 円
南あわじ市	1,350,000 円

企業等名	金額
淡路島レタス産地活性化協議会	600,000 円

連携自治体や企業等からの相談状況

地域との連携強化に資する組織により(又は当該組織を通じて)連携自治体や企業から受けた相談件数をお答えください。

連携自治体からの相談件数	24 件
高梁市	21 件
南あわじ市	3 件
	件
	件

企業等からの相談件数	16 件
うち、大企業	0 件
うち、中小企業	1 件

うち、小規模企業	15 件
うち、その他	0 件

全学生対象

1. あなたの出身(出生地)について、当てはまるもの1つを選んでください。

現在通っている大学がある都道府県(地元の大学へ進学)	536	人
現在通っている大学がある都道府県以外	699	人
分からない	0	人
その他	97	人

2. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	639	0.47972973
知らない	454	0.34084084
わからない	239	0.17942943

3. 当該大学が「地域のための大学」として実施する授業科目等(〇〇(選択・必修、対象年次、対象学部)←各大学が個別に記載する)を受講したことがありますか。

	人数	割合
はい	204	0.15315315
はい(複数科目)	932	0.6996997
いいえ	196	0.14714715

(「3.」の質問で「はい」を選択した方はご回答ください。)

4. 上記科目を受講した結果、課題を含めた地域の現状を把握するとともに、地域の課題解決に役立つ知識・理解・能力は深まりましたか。

	人数	割合
はい	702	0.61795775
いいえ	115	0.10123239
わからない	319	0.28080986

(「3.」の質問で「はい」を選択した方はご回答ください。)

5. 上記科目の受講が、大学のある地域(都道府県)の企業や自治体等に就職しようとするきっかけになりましたか。

	人数	割合
そう思う	118	0.10387324
ややそう思う	258	0.22711268
どちらでもない	350	0.30809859
あまりそう思わない	201	0.17693662
そう思わない	209	0.18397887

(「3.」の質問で「はい」を選択した方はご回答ください。)

6. その知識・理解・能力を今後どのように活かしていきたいと思えますか。(自由記述)

- ・就職にいかしたい。
- ・地域の現状などを知ることを心がけたいと思う。
- ・イベントに参加したい。
- ・ボランティアに参加したい。
- ・地域の活性化に加わりたい。
- ・社会貢献したい。
- ・先輩の論文を参考にする。
- ・外と関わっていく様にしたい。
- ・地域のことも深く理解したい。
- ・アニメーションの企業に就職し、活かしたいです。
- ・患者のために、活かしていきたい。
- ・地域の就職先を知ろうと思った。
- ・地域の活性化のためにがんばろうと思う。
- ・私は保健師の科目をとって、実習やボランティアを通して高梁の地域の方々に健康維持のための活動等行いたいと思う。
- ・退院支援の際の現状を知ること繋がったため今後この学びからの退院支援ができると思った。
- ・将来はレストランを経営したいです。その時、しっかり材料、用具などを調査して、地域活性と人々の健康を繋ぐ。頑張ります。
- ・地域に適合するuniqueな文化を理解し、革新したいと思う。

全教員対象

1. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	142	1
知らない	0	0
わからない	0	0

2. 「地域のための大学」として、地域を志向した教育・研究に参加していますか。

	人数	割合
教育・研究とも実施	54	0.38028169
教育のみ実施	43	0.3028169
研究のみ実施	14	0.09859155
いいえ	31	0.21830986

全職員対象

1. 当該大学、短大、高専(以下、「大学」とする)が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	66	1
知らない	0	0
わからない	0	0

全連携している自治体の代表を対象

1. 当該大学の取組は、副申した事業計画どおりに進捗していると思えますか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
はい	3	1
いいえ		0
わからない		0

2. 当該大学の取組について、円滑な連携のもとに実施されていると思いますか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
はい	3	1
いいえ		0
わからない		0

3. 当該大学の取組は「地域のための大学」として満足するものですか。
(理由は、「入力用(自治体理由)」シートに記載願います)

	自治体数	割合
大いに満足	2	0.66666667
満足	1	0.33333333
不満		0
大いに不満		0